

令和7年度（2025年度）「学校版環境ISOへの取組」好事例紹介

義務教育課

【小学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立日吉小学校	ISO委員会を活用し、児童たちの意見を大切にしながら、環境美化の取組を進めている。また、「節水ビンゴ」というISO委員会の児童が考えた節水をするための取組を実施し、クラスごとに目標を決めて毎日振り返りをするなど、全校児童の節水に対する意識が高まるような工夫がある。水道使用量やエアコン使用量も減少している。
	熊本市立桜井小学校	委員会活動において、自分たちで取り組めることがないかを話し合い、全校児童に取組の提案をしている。資源の再利用においては、古紙やペットボトルキャップの回収に加え、廃油再活用について業者と連携し、保護者や地域の方も巻き込みながら取組を進めている。環境ISOの取組や環境学習を通して、児童の環境保全に関する意識が高まり、行動として現れてきている。
山鹿市	山鹿市立山鹿小学校	学校版環境ISOの数値目標達成に向けて、環境美化・SDGs・給食委員会など、いくつかの委員会が協力して取り組んでいる。昨年度から立ち上げられたSDGs委員会の様々な取組もあり、学校全体の環境保護や環境保全への関心が高まってきている。また、職員は、タブレット端末の活用により、会議や研修等のペーパーレス化を進めたり、保護者への配付物は、ポータルサイトを活用したりし、紙の減量化を図った。
	山鹿市立菊鹿小学校	地域とともに「栽培活動に関する取組」やSDGsの視点を取り入れた「環境保全に関する取組」を実践している。栽培活動では、自然の厳しさや大切さ、育てることの苦労などを実感した。また、環境保全活動では、環境委員会を中心に、スタンプラリー等を行った。さらに、地域とともに進めているリサイクル活動では、たくさんの資源物を回収することができた。
宇城	宇城市立小川小学校	全児童で学校版環境ISO宣言項目を話し合って決定し、一年を通して数値的な目標を意識した取組を進めている。ESD委員を中心にみんなで学校をきれいにする意識が見受けられる。令和7年度8月豪雨で出た廃材を利用し、木鉢の修理・制作を行っており資源の再利用に努めている。また、PTAと連携し、学校環境美化活動を行っている。
玉名	玉東町立山北小学校	企画委員会の「山北スッキリボランティア」及び体育委員会の「山北クリーンウォークラリー」では、ごみ拾いや草取りを行い、児童全体で環境保全に取り組んだ。年に2回PTAで資源物回収を行っている。また、校区の特徴を生かした「森の学校」を通して環境教育推進活動を計画し、環境保全の観点から竹の割りばしやお椀を作る等、PTAと連携した取組がなされている。昨年度と比較すると、水道使用量が-29%、紙の使用量が-7%で、数値目標を大きく達成できている。
菊池	大津町立美咲野小学校	「ごみの減量」「節電・節水」「環境美化」の3つの宣言項目を設定し、児童が主体となりそれぞれの取組を行った。環境美化委員会とボランティア委員会合同で草取りスタンプラリーを行い、楽しみながら運動場をきれいにすることができた。また、一人一人の心がけにより、電気・水道使用量を前年度比-1%という目標を達成することができた。
阿蘇	阿蘇市立内牧小学校	給食・環境・ボランティア・くらしおうえん委員会など、各委員会がめざす学校像を児童集会で発表した。「トイレのスリッパ、蛇口チェックでスゴクを進めよう」や「ちよこつとボランティアの活動で、シールを集めて木を完成する」など、児童が意欲的に楽しみながら環境について考える活動を行った。各委員会で目標を設定し、児童集会や昼の放送等で、達成状況や集計した結果を全校に知らせたり、縦割り班活動による花壇整備や掃除を行ったりするなど、主体的に活動できるように意識付けを図った。

上益城	益城町立津森小学校	児童用と職員用それぞれの環境ISO宣言を掲示し児童と職員が同じ視点で環境問題の解決に意欲的に取り組んでいる。また、節水グランプリやお掃除ピカピカグランプリ、地域の農園でのジャガイモ・サツマイモ・ダイコン・稲作の栽培と収穫などの取組を通して、学校内だけではなく地域の環境について考えることができている。各家庭の協力でペットボトルのキャップ集めも14年目を迎えている。
八代	八代市立金剛小学校・弥次分校	「金剛環境ISO宣言」のもと、ICTを活用したポスター制作や、独自のチェックシートによるごみの分別の視覚化を行った結果、分別率において一学期は50%以下だったが、三学期は70%以上へと向上している。山江村の小学校と連携した「海山プロジェクト」は、植林や清掃活動を通じて、環境のために自分たちができることを考えるなど、特色ある取組がなされている。
	氷川町立竜北西部小学校	学校運営協議会の協力を得て、地域と連携して全校児童が花を種から育てる環境美化運動に取り組んだ。育てた花は、環境美化委員会の手で校庭等に植えたり、鉢やプランターに植え替え、見守り等でお世話になる地域の方々や同校区の中学校へ届けたりしている。これらの活動を通して、美しい花を咲かせるための苦労や維持管理の大切さを学び、環境美化に対する意識が高まった。
芦北	水俣市立水東小学校	具体的な宣言項目を各学級で話し合ったことで、全員が納得した宣言項目に決定している。「できた」と答える児童の割合が全学年98%以上となっている。地域ボランティア活動で、職員と児童が共に通学路や地域の公共施設のごみ拾いを行うことにより、自分たちの地域をよくしていこうという気持ちを高めている。家庭や地域に対しても、学校版環境ISOの取組の中でSDGsに関連のあることについて教育活動全体を通して啓発を図っている。
球磨	あさぎり町立岡原小学校	学校版環境ISOの取組について、課題を洗い出して宣言項目を設定した。すこやか委員会（児童）が全校集会時に周知し共通理解を図り、節水に心がけた児童が前年度より25%増加した。また、すこやか委員会（児童）は、毎月ごみの量や水の使用量をグラフに表したり、9月と12月には、取組の見直しを行い、各教室にリサイクルボックスを設置し、資源ごみ回収に向けて分別をしたりする等、課題を解決する取組を行っている。地域の団体（水土里ネット、老人会等）とも緑化運動に取り組む等、環境保全に関する活動も充実している。
天草	上天草市立今津小学校	環境委員会が中心となり、学校版環境ISO宣言を策定し、学校だけでなく地域までも花いっぱいにしようとして学校全体の取組として呼びかけている。児童会が主体的に行い、一人一鉢や学級園、地域の事業所への苗の配付と多くの花を育てるだけでなく、学校と地域とのつながりをつくる役割も果たしている。ボランティア清掃や花育てには職員も児童と一緒にやって行い、学校全体の取組になっている。
	苓北町立都呂々小学校	地域の豊かな自然環境を活かした体験活動と、外部機関との積極的な連携を通じて、児童の環境保全意識を効果的に高めている。児童の学びを校内に留めず「水俣に学ぶ肥後っ子教室」での学習成果をまとめた成果物を町役場に掲示し、地域住民への啓発を行った。また、学校ホームページを活用して、水質調査の様子や、家庭での環境配慮（洗剤の使用抑制など）を保護者に呼びかけるなど、学校・家庭・地域が連携した取組を推進している。地域や外部専門機関と密接に連携しながら、持続可能な社会の創り手を育む優れた取組を展開している。

【中学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立出水中学校	夏休みの地域清掃活動においては、保護者や自治会と協力しながら清掃活動に取り組み、自分たちが暮らしている環境をみんなでよりよくしていこうという意識を育てている。熊本市役所の脱炭素戦略課が推進している「デコ活」への挑戦をし、全校生徒で資源回収やごみ分別の改善など、環境意識を高める実践を進めた。紙の印刷量についても、タブレット端末等での配信を活用することで、使用量を減らすことができている。
	熊本市立飽田中学校	花への水かけは雨水タンクの水を活用して節水に努めており、水や電気の使用量の経年比のデータもまとめている。リサイクル活動では、PTAや地域の協力を得ながらアルミ缶等の回収に努め、資源を大切にしようとする意識を高めている。地域交流事業では、花のプランターを準備し、地域の事業所へ贈呈し、花のある景観づくりに取り組む温かい交流の輪を広げている。
山鹿市	山鹿市立鹿北中学校	川の上流に位置する中学校は、清流を守り地域を守ることが下流、海、世界を守ることにつながると考え、環境ISOをSDGsと関連付け、「持続可能な地球を鹿北から」という視点で継続的に取り組んでいる。SDGs集会では、「SDGsとは何か」をテーマにした劇で、「考え・行動する」ことをテーマにした活動啓発劇を行った。また、「鹿北中版SDGs」を作成し、活動した内容をリーフレットにまとめ、ホームページ等で保護者や地域住民に発信し啓発している。
宇城	宇城市立小川中学校	生徒会活動を中心に生徒が主体的に取り組み、環境ISO宣言事項について全校生徒参加の集会で共通理解を図り、具体的な実践へつなげている。宇城市の事業である「フードドライブ」にも積極的に参加し、保護者への呼びかけも行い、行政機関等と協力した実践を行っている。定期的に環境保全への取組等を実践することにより、環境を大切にしている心情や実践する習慣が身に付いてくる効果が期待できる。
	美里町立砥用中学校	厚生委員会を中心とした生徒主体の活動が定着しており、全校集会での宣言確認や「美化コンクール」の実施により、生徒の環境意識と実践力が向上している。「ゴミの捨て方たより」を作成するなど、職員全体での組織的な取組が評価できる。給食残渣の堆肥化による資源循環やPTAと連携した美化作業など、地域やSDGsと結び付いた持続可能な活動が実践されている。
玉名	荒尾市立荒尾第三中学校	生徒会執行部や各委員会が中心となり宣言文を作成している。また生徒が作成した宣言文を受け、職員会議で職員版の取組を考え、生徒と職員が一体となって目標達成に向け取り組んでいる。環境委員会がごみの重量を定期的に量って記録し、放送委員会と連携して注意喚起を行ったり、紙の裏紙使用を推進したりしている。福祉委員会が地域と連携して「花のみちプロジェクト」に参加し環境保全に努めたことで、エコパートナー荒尾市民会議から「省エネ賞」として表彰された。
菊池	合志市立西合志南中学校	生徒会の各委員会が宣言項目を設定し、それらを達成できるように、流し場にざるを設置したり、残滓ゼロコンクールを実施したりするなど、生徒が工夫しながら取組を行った。職員においても、生徒の宣言項目に合わせたものを設定するなど、生徒と職員が一体となって行動していた。学校通信で家庭啓発も積極的に行い、環境に対する意識向上を図っていた。

阿 蘇	南小国町立南小国中学校	無言清掃やバケツ1杯の水で掃除草取り週間、窓拭き週間等を位置付け、継続して取り組んでいる。節水、節電について、環境委員会で呼びかけを行い、毎月の使用水道量と使用電力量を掲示し、保護者や地域の方に節電、節水の呼びかけを行った。環境委員会と給食委員会で協力してサツマイモを育て、収穫し、給食の食材として使用した。ペットボトルのキャップや牛乳パックのリサイクル活動を行ったり、地域の清掃活動にもボランティアとして参加したりした。
上益城	山都町立蘇陽中学校	「もったいなか」を合言葉に、生徒と職員が一体となって節電、節水、節油、ごみの減量等に取り組んでいる。3年生は地域の方を講師に招いての菊の栽培、1・2年生はチューリップの栽培、生活委員会による花壇整備と、学校全体で「花いっぱい運動」に取り組み、環境美化にも努めることができている。さらに、美化活動等での地域講師との交流を通じて、学校や地域の環境を大切にしようという心や責任感を育むことができている。
八 代	八代市立日奈久中学校	生徒会がSDGsを全体目標に掲げ、生活環境委員を中心に「節電・節水・資源回収」の数値目標に向かって主体的に活動している。ペットボトルキャップの回収においては、家庭や地域と協力して取り組み、年間目標の40kgに迫る成果を上げている。小中合同での地域清掃や、PTAや婦人会と連携した資源回収を実施し、大型トラック3台分の資源を回収するなど、学校の枠を超えた環境保全と地域貢献ができている。
	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	「ペットボトルリサイクル」では、昨年度の反省から回収期間の変更や目標値の発表など、より効果的な取組となるよう環境美化委員を中心に生徒が主体となり活動を工夫している。生徒と職員が一体となった節電・節水の取組(清掃活動等)及び紙の消費量の減量化などの取組は、学校全体が一体となった計画的、継続的な取組として定着している。「電気使用量のグラフ」は、昨年まで掲示されていた月別の電気使用量を、過去3年分を手書きでグラフ化し、今年度分は毎月委員会で記録を確認、評価、手立ての検討を行うなど、生徒の節電の意識を高めることにつながっている。
芦 北	水俣市立水俣第二中学校	環境について身近に考え意識することができるように、環境ISOコーナーの掲示方法を工夫して、生徒一人一人が参加する一員であるということ意識できるようにした。グラフや写真を増やすことにより、自分たちの学校の環境活動について可視化できるようにも工夫した。整美・環境委員会で「温暖化と私たちの暮らし」について発表を行ったり、「SDGsと私たちにできること」について制作を行ったり、環境壁新聞の作成を行ったことにより、委員会活動の中から環境への意識を高めることができた。
球 磨	相良村立相良中学校	毎週金曜日にごみ回収をしたり、各学級にリサイクルボックスを設置したりする等の取組を進めながら、その状況を毎月確認し、課題を基に翌月の目標を設定して全校生徒に呼びかけた。校内の杉林を清掃するためにボランティア活動を計画したり、書き損じはがきの回収を各家庭に呼びかけたりする等、生徒の意欲的な活動が見られた。職員も、裏紙の活用や会議資料のペーパーレス化に努め、学校全体で環境ISOの実践に取り組んでいることがうかがえる。
天 草	上天草市立姫戸中学校	年度初めに環境委員会でISO宣言を見直し、生徒集会で周知するなど、生徒主体の取組でスタートしている。活動中の見取りと呼びかけも環境委員会が主体的に行ったり、生徒会企画のSBP活動を定期的に行ったりするなど、環境に対する意識が継続するような取組になっている。長期休業期間中に家庭版ISOを各家庭に設定してもらい、毎週評価を行って、感想を記入してもらうなど、家庭との連携も行っている。